グリムの館
ご案内

グリムの森の中にある「グリムの館」は、ドイツのレッチンゲン庁舎をイメージした多目的ホールのある建物と木組みの家２棟を組み合わせた鉄筋コンクリート一部３階建てです。

展示ホール

売店

1F

多目的ホール
（客席収納時）

多目的ホール
（電動式移動客席使用時）

グリムの館多目的ホールは、さまざまな催しに貸し出ししております。客席を使用してコンサートや発表会など、平面の状態でダンスやパーティなどにご利用いただけます。また、控室は１階と２階に合計３部屋あり、小会議室として、打ち合わせや講習会などにご利用いただけます。

2F

図書コーナー

Cafe Pause カフェパウゼ
〈営業時間〉㊏㊐ 11:00～16:00

控室

グリムの森
ご案内

「グリムの森」は、雑木林を活かした公園とドイツをイメージして造られた建物「グリムの館」からなる、グリムの里づくりのための中核的施設です。

●ものがたりの泉

●お菓子の家

●七人の小人の広場

●黄金のがちょうの泉

●領主の森

●グリムの広場

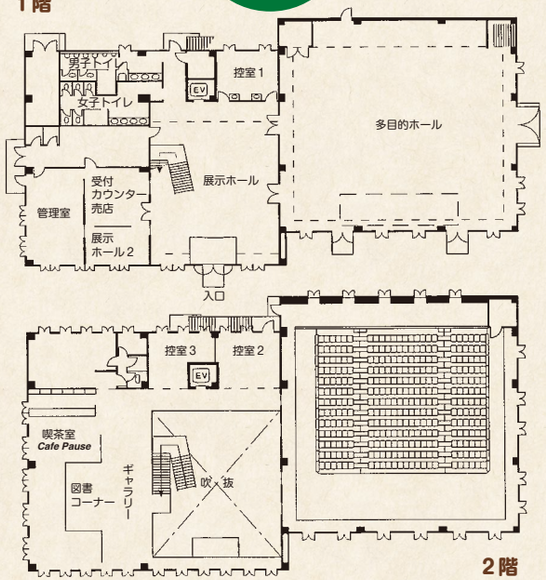
- 営業時間
  9:00～18:00
- 問合せ
  0285-32-6646

注意事項

※敷地内（園内・館内）は全て禁煙です。
※動物の散歩は禁止です。一緒に入園する場合にはゲージなどに入れてください。
※自転車やバイクなどの園内への乗り入れ・進入は禁止です。自転車置場をご利用ください。

0　20　100m

グリムの館
館内平面図



「グリム」とは？

この森や建物の名前にもなっている「グリム」とは「グリム童話」「グリム兄弟」の「グリム」です。「グリム兄弟」は 1800 年代に活躍した政治家であり、学者であり、文学者であった兄弟のことを指しています。兄のヤーコプは 1785 年 1 月 4 日、弟のヴィルヘルムは翌年 2 月 24 日にドイツのヘッセン州ハーナウに生まれました。ふたりは、早くに亡くなった父親の代わりに弟妹たちを支えながら、立派な業績を残しました。

グリム兄弟は、ドイツの伝承昔話を後世に残そうと、身近な女性たちから昔話を聞き、それを文章にしました。その時の題名は「Kinder - und Hausmärchen」といい、日本では「子どもと家族のための童話」と訳されています。1812 年に初版が発行された時は 156 話だったこの本は、版を重ね、最後の第 7 版（1857 年）では 200 話に達しました。これらのお話は、今でも「グリム童話」として世界各地に広まっています。

なぜ下野市が「グリム」なの？

石橋町は昭和 41（1966）年、グリム兄弟が生まれ活躍したドイツのヘッセン州にある、シュタインブリュッケン村の児童と、絵画や習字などの作品交換を始めました。「シュタイン＝石」「ブリュッケン＝橋」を意味するこの村は、同じ「石橋」という名前なのです。昭和 50（1975）年には姉妹都市の盟約を結び、以来交流を続けてきました。

現在、シュタインブリュッケンは周辺の 3 村と合併し「ディーツヘルツタール」の一部に、石橋町も合併して「下野市」となりましたが、下野市とディーツヘルツタールは姉妹都市として、変わらず交流を続けています。

グリムのそよ風、やさしさ体感。

〈グリムの森イルミネーション〉

〈グリムの森フェスティバル〉

〈おはなしフェスト〉

〈おはなしフェスト〉

電車・バス利用
- ＪＲ宇都宮線「石橋駅」下車⇒関東バス「ＪＲ宇都宮駅行」＝（約 1 分）⇒通古山バス停下車＝徒歩 12 分⇒グリムの森
- ＪＲ宇都宮線「石橋駅」下車⇒関東バス「文教経由・ＪＲ宇都宮駅行」＝（約 5 分）⇒文教通り下古山バス停下車＝徒歩 10 分⇒グリムの森
- ＪＲ宇都宮線「石橋駅」下車＝徒歩 25 分⇒グリムの森

車 利 用
北関東自動車道「壬生 I.C」下車約 15 分
東北自動車道「鹿沼 I.C」又は「栃木 I.C」下車約 30 分
駐車場 117 台（車椅子利用者 4 台）

開園時間
午前 9 時～午後 8 時（10月～3 月は午後 7 時まで）

休 園 日
毎週火曜日、毎月月末
※土・日曜、祝日の場合は翌日
年末年始（12/28～1/4）

グリムの里 ISHIBASHI
一般財団法人
グリムの森「グリムの館」指定管理者
グリムの里いしばし
〒329-0502 栃木県下野市下古山 747 番地
TEL 0285-52-1180 FAX 0285-52-1181
http://www.grimm-no.net

やすらぎのコミュニティ・パーク

グリムの森
グリムの館